

「ガチでうまい横浜の商店街〇〇NO.1決定戦」とは

一般社団法人横浜市商店街総連合会が、平成23年度から実施している販売促進キャンペーンです。毎回、消費者になじみがあり商店街内で販売されている「おいしいもの」を題材に、市民の人気投票を行い、NO.1を決定しています。商店街の魅力ある個店を発掘し、エントリー店への来店、商店街への来街へつなげることを目的としています。エントリー店を巡るスタンプラリーの実施、ミュージシャンや人気漫画とのコラボなど、消費者への話題提供を行うことで、商店街の活性化を図ります。回を重ねるごとに、多くのマスコミに取り上げられるなど、知名度が向上し、「ガチ！」シリーズとして市民に定着しています。毎年、シリーズの題材が何になるのかも話題を呼んでいます。

「ガチ！」公式サイト

<http://www.gachi045.com/>

一般社団法人横浜市商店街総連合会(市商連)について

市内商店街及び商店の振興に寄与することを目的に、昭和39年に設立された団体で、平成27年6月現在で、市内272商店街・約11,000店舗が加盟しています。

【会 長】岡野誠一氏(鶴見区商店街連合会会長)

【設 立】昭和39年6月25日

(昭和43年:社団法人化、平成25年:一般社団法人化)

【所 在 地】横浜市中区蓬萊町2-4-1横浜大通り公園ビル5階

横浜市の関わり

横浜市は商店街振興を進めています。「ガチ！」シリーズについても、商店街の活性化を図る事業として、開催当初から、事業費や広報・事業PRなど、側面から支援しています。平成27年4月には「横浜市商店街の活性化に関する条例」が施行され、商店街の活性化についての基本理念が定められました。これを機に、地域コミュニティの担い手としても重要な役割を担う商店街の活性化が図れるよう、今後も「ガチ！」シリーズを応援していきます。

平成23年度 ガチ！シリーズ第1弾



横浜の商店街には日常的にコロッケ及びコロッケを使用した商品を製造販売しているお店がたくさんあります。そしてコロッケは、「ポテト」「クリーム」「かぼちゃ」「肉じゃが」「カレー」など、種類も豊富で本当に美味しい食べ物です。子供から大人まで、昔からずっと愛され続けているコロッケ。それぞれ思い入れがあり、どのお店のコロッケも美味しいことは分かっています。でも知りたいのです。どんなに愛されているのかを。ということで、横浜の商店街で一番愛されているコロッケ及びコロッケを使用した商品を、市民の投票により決定する「ガチでうまい横浜の商店街コロッケNO.1決定戦」、略して「ガチコロ！」がスタートしました。



【開催概要】

- 投票期間／平成23年6月3日～9月30日
- エントリー／38店舗(14区28商店街)
- 投票方法／ハガキ、インターネット
- 有効投票数／5,790票

◆エントリーブック

エントリー商品とお店を紹介する冊子「エントリーブック」を市内各所で配布し、投票を呼びかけました。投票専用ハガキと試食券がついていました。

◆公式WEBSITE

エントリー商品を紹介する公式サイトをオープンし、店舗紹介の動画配信や人気ランキングの随時発表などを掲載しました。

◆投票抽選プレゼント

投票いただいた方の中から抽選で、韓国旅行ご招待、東北の名産品等をプレゼント。

◆イベント・メディアでのPR

- ・横浜スタジアム、日産スタジアムのホームゲーム等にPRブースを出店。
- ・商店街や地域の各種イベントに出店。
- ・テレビやラジオで続々紹介されました。

◆表彰式

後援団体である「大日本プロレス」横浜大会のリング上で行いました。

※大日本プロレスについて

大日本プロレスは横浜市都筑区を拠点に活動するプロレス団体で、「商店街プロレス」を開催するなど、市内商店街との関係も深く、「ガチコロ！」では横浜市商店街総連合会と強力にタッグを組み、表彰式を始め、主催試合での事業PRや「ガチコロ！」PRイベントでのスター選手による広報活動などを行いました。



平成24年度 ガチ！シリーズ第2弾



初めて開催した「ガチコロ！」で、多くの方から好評をいただいたので、翌年も、人気の高い“甘いもの(スイーツ)”を対象にした「ガチあま！」を開催しました。商店街で日常的に販売している“甘いもの”は、そのお店にしかない味、まさに逸品です。多くの人を虜にして愛され続けるスイーツをテーマに、横浜の商店街で一番うまい“甘いもの”は何か、「和菓子」vs「洋菓子」の対決が注目されました。



【開催概要】

- 投票期間／平成24年6月4日～9月30日
- エントリー／82店舗(18区60商店街)
- 投票方法／ハガキ、インターネット
- 有効投票数／17,103票

◆エントリーブック

ヨコハマが大好きで地元を盛り上げる活動をしているオンナノコ集団「hamajo」のモデルさんが「ガチあま！」オフィシャルサポーターとして登場。PR会場や各商店街での活動でも活躍。

◆公式WEBサイト

公式サイトに加え、スマートフォンのアプリが登場。このアプリは、お店の情報ムービーやお店までのマップが見られ、ウェブ投票もできるものでした。

◆投票抽選プレゼント

- ・投票いただいた方の中から抽選で、台北旅行ご招待、地元横浜4団体のグッズや観戦チケット、東北厳選スイーツをプレゼント。
- ・全シリーズを通して、最も多い投票をいただきました。

◆イベント・メディアでのPR

- ・日産スタジアム「ガールズフェス」に初出店。以後、毎年「ガチあま！」スイーツが継続して出店。
- ・宮城県塩竈市で開催された「ご当地!自慢の“逸品”フェア」に初出店。
- ・ケーブルテレビやラジオでのPRを実施。

◆結果発表・表彰式

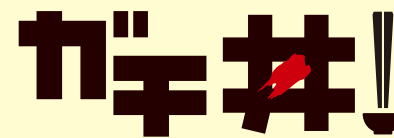
日産スタジアム「横浜F・マリノス」ホームゲームのキックオフ前に大型ビジョンで各賞を発表。表彰式は横浜文化体育館で行われた大日本プロレス横浜大会のリング上にて開催。会場では金賞の「豆大福」を来場者に配布しました。

◆その他

「市営バスに乗って『ガチあま！』に参加しよう！」のタイトルでエントリー店までの横浜市営バス路線を交通局WEBサイトで紹介しました。



平成25年度 ガチ！シリーズ第3弾



多くの日本人が愛してやまない“丼もの”を対象にした「ガチ丼！」では、予選として、エントリー全商品を対象にハガキやインターネットでの投票を行い順位を決定。その後、上位15商品による一発勝負の決勝戦を行い、金・銀・銅の各賞を決定しました。決勝ラウンドでは、日産スタジアム西ゲート前広場にキッチンカーが集結し、参加15店全店で合計約9千杯の丼を完売するほどの盛況ぶり、購入者の投票による最後の戦いを繰り広げました。「ガチ丼！」を応援してくれたアーティストたちもパワフルなステージで決勝ラウンドを盛り上げました。(決勝ラウンドの様子は31ページにも掲載しています。)



決勝ラウンドの様子 その日のうちに結果発表も

【開催概要】

- 予選ラウンド
 - 投票期間／平成25年6月1日～8月31日
 - 投票方法／ハガキ、インターネット
 - エントリー／77店舗(18区52商店街)
 - 有効投票数／10,089票
- 決勝ラウンド
 - 投票期間／平成25年10月19日
 - 投票方法／会場にて丼1杯購入につき、1投票
 - エントリー／予選ラウンドを勝ち抜いた15商品
 - 有効投票数／6,931票

◆エントリーブック

- ・秋田書店発行「週刊少年チャンピオン」とのコラボが決定。表紙は人気漫画「弱虫ペダル」の渡辺航先生が描き下ろすなど、連載漫画の人気キャラクター達がエントリーブックを飾りました。
- ・元町SHIMOMURAオーナーシェフ下村邦和さんの「カンタン丼！レシピ」を紹介。
- ・CRAZY KEN BAND小野瀬雅生さん、MAZIORA THE BANDが初登場。

◆公式WEBサイト

- ・hamajoが各商品を紹介する動画「hamajoのガチ丼！食べある記」を配信。
- ・CRAZY KEN BAND小野瀬雅生さんが全エントリー店を巡る「ガチ丼！行脚」初開催。

◆投票抽選プレゼント&スタンプラリー企画

- ・スタンプラリー企画「ガチ！遍路」がスタート。期間中にエントリー商品を食べた集めたスタンプの数に応じて、先着でオリジナルグッズ等をプレゼント。
- ・投票抽選プレゼントでは、週刊少年チャンピオン関連グッズを用意。

◆イベントでのPR

日産スタジアムでのPRイベントに「週刊少年チャンピオン」の漫画家の先生3名が駆け付け、即興ライブペイントを行い、「ガチ丼！」を盛り上げてくれました。

◆その他

資源循環局で実施している「食べきり協力店」に全エントリー店が登録し、ごみの減量化に取り組みました。

平成26年度 ガチ！シリーズ第4弾



みんなが大好きなカレーをテーマに「ガチカレー！」を開催しました。カレーライス、カレーパン、カレーうどんなど、カレーを使用した食べ物なら何でもOKということで、定番のものからそのお店にしかないオリジナリティあふれるもので、商店街自慢のカレー73商品が集まり、真夏のカレー頂上決戦を繰り広げました。



【開催概要】

- 投票期間／平成26年6月1日～8月31日
- エントリー／73店舗(18区55商店街)
- 投票方法／ハガキ、インターネット
- 有効投票数／8,692票

◆エントリーブック

- ・「ガチ丼！」に続き、「週刊少年チャンピオン」が協力。人気漫画「刃牙道」の板垣恵介先生がエントリーブックの表紙を描き下ろしてくれたほか、人気作品が「ガチカレー！」に熱いメッセージを寄せてくれました。
- ・CRAZY KEN BAND小野瀬雅生さん、真心ブラザーズの桜井秀俊さん、44MAGNUMの梅原「PAUL」達也さんが登場。

◆公式WEBサイト

「ガチ丼！」に続いて、CRAZY KEN BAND小野瀬雅生さんが全エントリー店を巡る「ガチカレー！行脚」を動画で配信。

◆PR

市営地下鉄と市営バスの「ガチカレー！号」を運行。市営地下鉄1編成(はまりん号)と市営バス1台を、「ガチカレー！」のポスターで埋め尽くしました。

◆スタンプラリー企画「ガチ道」

先着でオリジナルグッズをプレゼント。なんと、73店舗を食べ尽くした全店制覇者が11名も出て、バックライトに「ガチカレー！」のロゴが浮かび上がる「ガチカレー！カスタムG-SHOCK」を進呈しました。

◆結果発表

日産スタジアム「横浜F・マリノス」ホームゲームの開始前に大型ビジョンで各賞を発表しました。

◆その他

エントリー店舗に投票箱を設置し、投票しやすくしました。



「ガチ道」景品



表彰式

平成27年度 ガチ！シリーズ第5弾



投票対象は、シリーズ当初から要望の多かった、待望の「めん類」。めん料理には、麺の種類や味だけではなく、温かいもの・冷たいもの、汁のあるもの・ないものなどなど、たくさんの種類が存在していることから、商品提供時に「めん」が汁(スープ)に浸かった状態で提供されるものに限定し、「ガチめん！～汁もの篇～」として開催しました。「ラーメン」「そば」「うどん」「きしめん」「ソーキそば」「パスタ」「フォー」など、様々なジャンルから、54商品が集結しました。



【開催概要】

- 投票期間／平成27年7月1日～8月31日
- エントリー／54店舗(18区41商店街)
- 投票方法／ハガキ、インターネット
- 有効投票数／5,184票

◆エントリーブック

- ・引き続き「週刊少年チャンピオン」が全面協力。人気漫画「弱虫ペダル」の渡辺航先生の描き下ろしイラストが表紙を飾り、「刃牙道」「囚人リク」など8作品が応援してくれました。
- ・CRAZY KEN BAND小野瀬雅生さんの「ガチコロ！&ガチあま！金・銀受賞店行脚」を掲載。
- ・JAM Projectの福山芳樹さん、TYO/HEESEY/ex.THE YELLOW MONKEYの廣瀬HEESEY洋一さんが登場。
- ・元町SHIMOMURAオーナーシェフ下村邦和さんの「インスタントらーめん ちょい足しレシピ」を紹介。
- ・エントリーブックの裏表紙は、4種類を作成。誰のエントリーブックが手に入るか分からない、ちょっとしたお楽しみで、ランダムに配布。

◆公式WEBサイト

- ・恒例になった、CRAZY KEN BAND小野瀬雅生さんの「ガチめん！行脚」で、全エントリー商品を紹介。
- ・hamajoモデルとお笑い芸人がエントリー商品を紹介する動画「GACHIMEN！見聞録」を配信。

◆スタンプラリー企画「ガチ道」

「弱虫ペダル」のオリジナルイラスト入り京友禅のアロハシャツ等の限定品をプレゼント。さらに今回初、「ガチ！」に協力してくれた4組のミュージシャンが出演する「GACHI LIVE！」にご招待も。

◆ガチコラボ！(5周年記念企画)

スピンオフ企画「ガチコラボ！」を開催。各「ガチ！」のエントリー店と有名シェフとで新規メニューを共同開発し、渾身の逸品全14品をエントリー店で期間限定販売するという初の試みでした。ロゴとキャラクターは安齋肇さんの描き下ろしです。



「ガチ道」景品

